



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>



令和8年1月30日

福生市立福生第三小学校

校長：浅倉 宏之

住所：福生市牛浜162

電話：551-0249

一冊の本から広がる世界

副校長 中村 将行

1月中旬、新聞やニュースで大きな文学賞の発表がありました。候補作の作者の中に、私の大学時代の仲間の名前を見つけ、思わず当時のことを懐かしく思い出しました。毎日のように顔を合わせ、映画や文学等について熱く語り合っていた若かりし日々を思い返すと、今では赤面の至りです。残念ながら今回は受賞を逃しましたが、冬休み中、その候補作を実際に手に取り、読み始めると、ページをめくる手が止まらず、一気に読み進めてしました。久しぶりに物語の世界に引き込まれ、時間を忘れて本と向き合うひとときは、改めて読書のもつ力や魅力を感じさせてくれる、すてきな体験となりました。

本校では今年度、読書活動の充実を学校全体で推進しています。子供時代に多くの本に触ることは、語彙や表現力を豊かにするだけでなく、想像力や感受性を育み、他者の思いに寄り添う心を育てる上でも、非常に大切なことです。そこで本校では、読書活動のスローガンとして「年間二万冊の本の貸し出し」を掲げ、全校で取り組んでいます。これは、児童一人当たり年間五十冊の読書を目安とした取組です。

まずは量としての基盤をしっかりとつくり、本に親しむ習慣を身に付けることを大切にしています。その上で、興味をもった分野を繰り返し読んだり、お気に入りの一冊に出会ったりしながら、それぞれが自分なりに読書を深めていってほしいと考えています。読書は、速さや量を競うものではなく、一人一人が自分のペースで世界を広げていくものです。

2月10日（火）から2月24日（月）までは、読書旬間を設定しています。学校では、朝読書や図書室の活用などを通して、子供たちが落ち着いて本に向き合う時間を大切にしています。ぜひご家庭でも、読んだ本の話を聞いたり、同じ本を読んで感想を伝え合ったりするなど、読書につながる温かな声掛けをお願いいたします。学校と家庭が連携し、子供たちに豊かな読書体験を届けていきたいと考えています。



1月22日 図書委員会集会
図書委員が本の紹介をしている様子